

住民自治協議会だより



P1 ; 事業報告 (総務部会)

P2 ; 事業報告 (安全・防災・健康・福祉部会)

P3 ; 事業報告 (環境・教育・文化部会)

P4 ; 頑張ってるお店紹介 他

平成 26 年 12 月 1 日発行 発行者 第一地区住民自治協議会 会長 竹本次雄

『初代会長 北澤良洋さんが旭日単光章を受章』

平成 26 年度秋の叙勲で、区長として 30 年にわたり地域づくりに貢献された功績で旭日単光章を受章されました。北澤さん(81 歳)は、昭和 55 年西之門町の区長を振り出しに、平成 13 年から第一地区区長会長を務め、平成 21 年の住民自治協議会の発足に伴い、初代会長として長年培った見識と経験を生かし、今日の礎を築いていただきました。

受賞を、地域みんなでお祝い申し上げ、ご労苦に感謝の言葉を贈りたいと思います。

《事業報告》

総務部会

〈視察研修〉「岡谷市豪雨災害現場・北杜市太陽光発電施設の視察研修」

9 月 8 日(月)～9 日(火)の両日の研修に 15 名参加、

岡谷豪雨災害現場と大規模な太陽光発電施設を見学しました。8 日は、岡谷市湊支所(災害発生地域)に伺い、危機管理室の職員お二人から説明を受けました。岡谷豪雨災害の概要は、平成 18 年 7 月 15 日から断続的に 4 日間降り続いた総雨量 400 mm の豪雨により土砂・土石流災害が発生、消防団員 1 名を含む 8 名の人的被害、288 軒の住宅被害を起こす甚大な災害でした。当時の岡谷市の災害への取り組み、避難指示、勧告等の対応、述べ 6000 名のボランティア活動による復旧の様子等説明を受け、その後、現在は復旧された災害発生現場を見学しました。岡谷市ではこの教訓を基に 7 月 19 日を岡谷防災の日と設定し「忘れまい豪雨災害語りつぐ防災と教訓」を全市民一丸となり取り組んでいるとのことでした。



9 日には、炭平メガソーラー白州(太陽光発電施設)を見学しました。平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、原子力発電に代わる自然エネルギー発電の一つとして太陽光発電事業が推奨され、炭平コーポレーション(株)さんはいち早く山梨県北杜市の 4600 坪の敷地に施設を建設。現在、発電量 150 万 kwh/年、一般家庭使用電気量にして約 500 軒分(来年 3 月からは 700 軒分)を発電し、東京電力に供給しているとのことでした。



身近に迫る災害、近々でも南木曾町・広島の豪雨災害、御嶽山の噴火、大型で強い勢力の台風の来襲がありました。今回の視察研修を地域の防災強化と住民の生活環境改善に反映させていきたいと考えています。

「社会を明るくする運動」9 月 25 日(水)第一地区公民館 34 名参加 新諏訪町、更生保護施設「裾花寮」三井國正施設長さんを招き「生き直しの現場で」と題した講話をいただきました。更生保護施設とは、犯罪を犯した人が仮出所にあたり頼れる方がいないような場合、一定の期間(最長 6 か月)、宿泊場所・食事を提供し、更生を果たすために必要な指導や援助を行いその再出発を支える施設です。裾花寮には 9/25 現在、男性 7 名・女性 2 名の方が入所され、就職先を探しながら更生を目指しています。



「秋の交通安全啓発運動」に参加 9月21日(日)尾張部交差点に5名、9月22日(月)若松町交番前交差点に20名が参加し、交通安全の街頭指導を行いました。

「避難訓練」を実施 11月9日 名、11月16日 名 参加

今年の避難訓練は、朝7時震度6の地震発生の想定のもと各町で避難行動を開始し、



10時までに、9日は城山小学校・16日は加茂小学校のグラウンドに避難集合しました。その後、消防署西長野分署、消防団第一分団の協力を頂き、バケツリレーの消火訓練・ポンプ操法見学・水浄化装置の実習見学・防災倉庫位置ならびに内容確認等中身の濃い訓練を実施しました。



「ノルディックウォーキング」9月2日飯綱高原 30名参加

戸隠古道を散策するノルディックウォーキングを開催しました。

信州ノルディックウォーキング協会清水会長からポールを使った歩き方について指導を受け、大座法師池から大久保の茶屋(約3km)まで1時間20分かけて歩きました。前日の雨のため足場は悪かったものの秋晴れのもと、カラ松林とクマ笹の中下界の猛暑を忘れ飯綱高原の自然を満喫し爽やかなひとときをすごすことができました。



「健康体操」9月24日(水)第一地区公民館 21名参加

平成26年度第2回の健康体操が健康運動指導士徳武有紀子先生を講師に迎え開催されました。仰向けに寝て膝を立て①腕を天井に向けて伸ばす②膝をゆらゆらとまわす③深呼吸をしながら下腹部を引っ込める運動によりアバラ骨と骨盤の筋肉を動かすササラ運動を行いました。参加者からは姿勢が良くなった、体が柔らかくなったと好評でした。



「一人暮らしふれあいの集い」を開催 10月21日第一地区公民館・10月22日新諏訪公民館

2日合計で127名の参加で開催されました。両日とも、西長野さつき会のハーモニカ演奏・さくら会の皆さんの踊りにあわせて「知床旅情」他3曲を全員で合唱。長野市役所会議保険課宮入綾子さんから『健康寿命を延ばそう』と題した講話があり、①筋肉・関節の機能向上②適度な栄養の摂取③誤嚥の防止④脳の活性化が大切だと話されました。その後健康・福祉委員の皆さんが調理した美味しいけんちん汁とお弁当をいただきました。引き続き北部保健センターの今井さとみ保健師さんから健康寿命を全うするには脳・心臓・腎臓の血圧をコントロールすることが重要とのお話があり、最後に「明るく楽しく生きようよ」を合唱し楽しいひとときを過ごしました。



「男の料理教室」10月29日 第一地区公民館 11名参加

本年2回目の男の料理教室は講師の牧野見伊子先生の指導で、さばの人参味噌煮・キャベツとりんごのサラダ・きのこ里芋のスープ・スイートポテトの4品を調理しました。3班に分かれて料理開始から1時間強で各グループとも4品完成。先生も驚くスピードでしたが、それは下ごしらえを講師と事務局の女性が済ませてくれてあったお蔭。



料理はレシピ作成と材料調達・仕込みで8割終了とお聞きし、日頃それを一人で行っている奥様方に敬意を表する次第です。その後全員で試食しましたがとても美味しく皆さん満足の料理教室でした。

「健康食講座」11月5日 第一公民館 25名参加

北部保健センターの原山正美管理栄養士と今井さとみ保健師さんを講師に開催されました。65歳以上の15%が認知症で30年前と比べ2倍以上に増加。その70%がアルツハイマー型で体内の血糖値の上昇と深い関係があります。食材の糖分含有量に注意しながら適切な食事量と栄養バランスを考えた食事をするのが大切です。



環境部会

「湯福川の清掃」実施 10月3日 20名参加

本年度の湯福川清掃は、長野市で川底の土を除去することを踏まえ、川底の草刈は取りやめ、人数を減らし環境部会員のみに行いました。当日は天候に恵まれる中、朝8時30分に集合し、湯福川の川底に降り、側面の石垣から生える草の刈取りと覆いかぶさる枝の伐採を中心に清掃を行いました。作業は1時間弱で終了しましたが、やぶ蚊が多くほとんどの部員が刺され、ちょうど蚊が媒介するデング熱がニュースになっていましたが、皆さん大丈夫のようでした。



「第一から第五地区環境部会合同視察研修会」 10月27日 第一地区15名(全体で50名)



本年度の環境部会合同視察研修は、第2地区の担当で諏訪湖流域下水道豊田終末処理場と岡谷酸素太陽光発電所を見学しました。諏訪湖は昭和30年代後半からの周辺地域の発展と共に水質が悪化し、アオコの発生や悪臭・魚類の斃死などの被害が発生しました。そこで、県と周辺7市町村が協力し昭和54年から終末処理施設の供用を開始し、順次施設の改善を重ね平成16年度に現在の高度処理施設となり諏訪湖水質浄化に取り組んでいます。

岡谷酸素太陽光発電所は、この終末処理場の建物屋上(3万㎡)を有効利用する太陽光発電事業に選定され、平成24年12月に約5000枚のパネルを設置し、年間約120万Kwh(一般家庭約300軒分)の発電を行っています。生活に密着した環境改善・環境保護の施設を見学した有意義な視察研修でした。

「環境部会独自視察」 11月6日(木)イコール・ゼロ(株)見学19名

環境部会独自研修は、長野市大豆島の産廃処理業者イコール・ゼロ(株)(旧名:みすず工業)を見学しました。同社は一般廃棄物収集運搬事業者として昭和43年創業、昭和60年からは工場廃液の中間処理を開始し、平成16年には廃液から銅・ニッケルを回収する設備を導入し、現代社会に求められる資源循環事業を展開しています。社長さんのご説明によると社名のゼロとは「0」ではなく「元のあるべき姿」とのこと。工場内は異臭も少なく清潔に保たれ、また丁寧な説明・対応や質問への回答を頂き、とても気持ちの良い研修となりました。



教育・文化部会

「家庭と地域の子育て講座」 9月7日(日)31名参加 第一地区公民館

講師:柳町中学校 校長 杉山 由一先生 演題:「感性を育てる」

杉山先生のフルートのすばらしい音色の演奏によって始まりました。「修学旅行永平寺での大地讃頌」「音楽室取り壊しでの感謝の歌」や「新世界のシンバルの演奏」「さだまさしの『つぐない』の作詞・作曲の契機と意図」等の講話は人間としての生き方を深く見つめ直し、貴重な心の栄養を与えてくれました。そして校長講話で語られた「川の流れのように(秋元康)」「落ち葉の道(高田敏子)」「コンティニー(シーモ)」の教えは人間として大切な生き方が示唆されるものでした。



「キックベースボール大会」10月5日(日)加茂小学校校庭 子供8チーム 参加

早朝5時の時点では「昼ごろから雨、早まる可能性もある」との長野気象台の予報でした。子ども達が楽しみにする大会なので、途中で中止もあるとの条件で開始時刻を早め試合時間を短縮して行われました。1試合目が終わり、2試合目から小雨が降り始めました。中盤になると傘が必要となるような降り方で、体感温度が15℃以下と肌寒くなり、子ども達の中には試合続行の声も聞かれたが残念ながら中止となりました。地球温暖化の影響でしょうか今年10月に入り猛烈な大型台風が2回も上陸しました。今後、雨天時の体育館でのスポーツについても一考すべきと思いました。



「男女共同参画事業」講演会 10月24日(金)第一地区公民館 19名参加

「地域に安心と楽しみを一高齢化時代の心意気」と題して元信濃毎日新聞論説委員で現在も多くの分野で活躍されている三島利徳氏の講演会が開かれました。講話は①安心の対局・怖いもの、昔と現在のことわざ ②男女共同企画の法律 ③自然災害の対応 ④活気の対局・人口減少と高齢化 ⑤女性も安心して働ける環境 ⑥まとめと展開し示唆に富んだ内容でした。情報交換では「結婚・出産後の職場復帰」「少子化と結婚・出産」「正社員と非正社員との待遇格差」「第一地区の少子化と高齢者社会」そして「共働きによる子ども支援の為に3世代同居や近くでの居住の良さ・育児施設の重要性」等多数の話題が出されました。





「加茂小学校開校 100 周年を迎える」

長野市立加茂小学校は大正 3 年の開校から今年で 100 周年を迎え、11 月 1 日に記念式典が開催されました。式典では瓜割花火保存会による木遣りの奉納・長野商業高校チャリディング部の演技・ラジオパーソナリティーの松山三四六氏の講演「一生懸命～今をいきる」等の催しものがありました。また、加茂の伝統として、里島カタクリ群生地保護・組体操五重の塔・サッカーW杯加茂大会・大相撲加茂場所等が今でも引き継がれています。

新連載企画

事務局長訪問

がんばってるお店紹介！



横沢町 鮮魚店 (有)清瀧商店さん

住所〒380-0861 長野市横沢町 776 ☎232-4806 定休日/日曜・休日 営業時間 10時～19時

今回から、各町の頑張ってるお店を紹介します。初回は「きよたき」さんを古畑区長さんと訪問し、2代目ご主人の清瀧岐陸（あつのり）さんにお話を伺いました。「きよたき」さんは今年で創業84年。かつては横沢町だけで7軒の鮮魚店があったそうですが今ではこちらのみ、大型店との販売競争に加え大型冷蔵庫等の設備費他で正直お店の経営は厳しいとのことですが、「お宅の魚、美味しいよ」のお客さんの喜びの声に支えられて今日も頑張ってます。毎朝5時から市場へ仕入れに。永年の経験で鮮度の良い美味しい魚を見つけ、特定のお客さんの好みに合わせた仕入れもします。大型店ではできないサービスです。ところが近頃は、「魚屋さんには美味しい魚がある」ではなくて「魚屋さんにも魚が売ってる」という時代になってしまったと嘆かれます。お店一番の人気商品は『ギンダラの粕漬け』。これを目当てにまたお店の評判を聞き、佐久や松本からもお客さんが来店されるそうです。お店は、奥さんと息子さん夫婦の4人で切り盛りされ、自慢の味は次代に受け継がれていきます。



事務局移転のお知らせ 事務局（第1～第5合同事務所）が現在のもんぜんぷら座から、権堂イーストプラザ（長野大通りイトーヨーカ堂の向かい側）へ移転します。

12月22日～26日に引越を行い、来年1月5日（月）から新事務所にて業務を開始します。新住所は、〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町 2201 番地 20 権堂イーストプラザ ND1 階です。電話番号は変わりません。

広告

ゲリラ豪雪! 備えはお済みですか?

第一地区住民自治協議会 自治会保険引受代理店



株式会社 フィナンシャルパートナーズ ジャパン
長野市若里 電話 (026) 262-1231

◆第一地区住民自治協議会事務局：木村（事務局長）・岡村・米倉（第一から第五地区合同事務所内）

〒380-0835 長野市大字南長野新田町 1485-1 もんぜんぷら座 8階

電話：262-1217（FAX兼）E-mail：dai1@clock.ocn.ne.jp

編集委員：鷲澤文治、柄澤申一、古畑幸雄、鳥居弘、市民活動支援課：藤田啓一